

# エコアクション21 環境活動レポート

2009 年度版

2009 年 11 月 16 日発行



エコアクション21  
認証・登録番号 0002348

本社・工場 〒277-0861 千葉県柏市高田 1113-13

**有限会社 光化工業所**

電話 番号: 04(7143)3248

FAX 番号: 04(7143)4693

E-mailアドレス: [office@kouka-web.com](mailto:office@kouka-web.com)

## 目次

- .組織の概要
- .環境方針
- .環境目標
- .主要な環境活動の内容
- .環境活動の取組結果の評価
- .環境法令への違反、訴訟の有無

### .組織の概要

事業所名 有限会社光化工業所

代表取締役 大谷洋司

所在地 本社・工場 〒277-0861 千葉県柏市高田 1113-13

電話 番号、FAX : 04(7143)3248 、 04(7143)4693

環責者 製造部 島貫和之

担当連絡者 事務部 武石朋子

#### 【事業活動の概要】

ネームプレート製造業

- ・エッチング加工
- ・アルマイト加工
- ・シルク印刷
- ・機械彫刻
- ・カッティングフィルム

#### 【事業の規模】

売上高: 年商 18,000 万円

敷地面積: 土地 991.90 m<sup>2</sup>  
建物 1F 447.68 m<sup>2</sup>  
2F 377.88 m<sup>2</sup>

従業員数: 16 名

## 【会社沿革の概要】

創立年月日： 1949年4月1日  
設立年月日： 1965年3月3日

1949年4月 大谷圭次(故)が東京機器(株)(現・トキコテクノ株式会社)を退社し、  
柏市大塚町4-12番地で創立した。  
1965年3月 有限会社に改組し、資本金40万円で設立する。  
1968年6月 大谷洋司 代表取締役役に就任する。  
1973年1月 本社工場を、現在地に新築移転する。  
1974年4月 資本金300万円に増資。  
1975年1月 資本金600万円に増資。  
1989年10月 資本金1,000万円に増資。

## 【機械設備】

電子画像処理システム POWER MAC8500 式 1式  
カッティングシステム CG-100LX 1台  
熱風乾燥機(温度制御法) 3台  
自動フィルム現像機 FG-680A 1台  
コンピュータ彫刻機 PG301004 2台  
全自動エッチングマシン 1台  
全自動現像機 AP-201 1台  
全自動研磨機 AP-201 1台  
水洗式塗装機 VPO-5B-1E 1台  
アルマイトレジスト加工設備 1式  
第2塩化鉄液貯槽 2基  
全自動廃水処理装置 1式  
シルク印刷機 ニューロング他 3台  
シノハラ パワープレス 65t 1台  
コマツ パワープレス OBS25t OBS45t OBS60t 各1台  
蹴飛ばしプレス 5台  
シャーリング 3台  
両面ラミネータ 1台

# 有限会社 光化工業所

## 環境方針

### < 基本理念 >

【 有限会社 光化工業所 】は環境にやさしい製造業として、省資源(節水を含む)省エネルギー・環境保全に対する活動を、全社一丸となって取り組みます。

### < 活動方針 >

当社のネームプレート製造業(金属・樹脂銘板、シール、カッティングシート)の事業活動を通じ、継続的な環境負荷の低減のため、行動指針を次のように定めます。

1. 環境目標を定め、全員参加の省資源・省エネルギーの環境活動を推進し、必要に応じて見直しをします。
2. 環境に関する法規制、条例を遵守し、環境負荷の継続的な削減に取り組みます。
3. エコアクション 21 に基づく環境経営システムを導入し実行します。
4. 具体的取り組み内容。

二酸化炭素の排出量の削減

廃棄物の分別の徹底と再生利用の推進及び減量

事業所全体の節電、省エネルギー化

節水と浄水設備の管理徹底

会社全体でグリーン購入の推進

5. 当社のために働くすべての従業員にこの環境方針を周知します

2009年11月16日

代表取締役社長

大谷洋司

## 環境目標

環境目標は二酸化炭素排出量、水資源投入量、廃棄物排出に関する項目について2006年度を基準に「07,08,09」3年間の削減目標を計画。

浄水設備についても管理目標を計画。(現在、「非特定事業場」となった)

### 【環境目標】

	単位	2006年度実績	2007年度目標	2008年度目標	2009年度目標
		(基準年度)			
電力の削減	kWh	124,128	122,887	121,645	120,404
			-1%	-2%	-3%
ガソリンの削減	L	7,793	7,715	7,637	7,559
			-1%	-2%	-3%
排水の削減 09年度より上水+地下水合計目標	m3	758	750	743	1,925
			-1%	-2%	-3%
一般廃棄物削減	kg	3,072	3,011	2,949	2,888
			-2%	-4%	-6%
産廃については、品質的に減量が困難なため、維持管理をしていく。(実績把握等)					
グリーン購入	点	4点	5点	10点	58件
					2009年度より購入件数へ変更
浄水設備の管理	緊急事態対応策の水平展開 年次液漏洩訓練実施 関連文書のファイリング徹底				

## 主要な環境活動の内容

目標を達成するために実施する具体的取組は以下のとおりとする。

### a, 電力の削減対応策

- 室温設定適正化(冷房 28 暖房 20 )
- 休み時間の消灯

不在時の消灯

機械の空運転をしない

省エネ型蛍光灯の導入（機器の導入はコスト的に厳しいため、蛍光灯から全面切換えを実施）

b-1, 廃棄物の削減対応策(一般)

廃棄物削減目標の説明

分別の再教育

ゴミ箱の分別化再推進

b-2, 廃棄物の削減対応策(産廃)

鉄液(廃酸)の廃棄量管理(産廃であるが、製造工程・品質上減量が困難なため、維持管理をする。)

浄水設備にて発生する汚泥の廃棄量管理(今期より実施)

c, 排水の削減

節水呼びかけおよび節水促進表示の明示

地下水の使用量を把握

手洗い時の止水協力

d, グリーン購入

用紙類、軍手など環境にやさしい商品を購入

e, 浄水設備管理対応策

定期点検を含めた管理維持。

緊急事態対応策を他の設備にも水平展開する。

年次液漏れ訓練実施。

f, ガソリンの削減対応策

エコドライブ講習会等への参加

アイドリングストップ

急加速・急停車の防止、スピードの抑制

タイヤの空気圧管理（燃費向上手段として定期的な維持管理を開始）

エンジンオイル管理（燃費向上手段として定期的な維持管理を開始）

**燃費に対しても実績としてデータを取り、効果把握手段とする。**

## 環境活動の取組結果の評価

環境活動の取組結果とその評価

### 【環境活動実績】

「2007～2008年度」(以下年度とは3月～2月を言う)

活動実績表	単位	2007年度		2008年度	
		計画	実績	計画	実績
<b>総二酸化炭素排出量</b>	<b>kg-CO<sub>2</sub></b>		<b>65,482</b>		<b>64,554</b>
購入電力量	kWh	122,887	115,512	121,645	114,920
ガソリン使用量	L	7,715	5,564	7,637	7,056
			(3～6月末計測)		
<b>総排水量</b>	<b>m<sup>3</sup></b>		<b>1,965</b>		<b>1,592</b>
上水使用量	m <sup>3</sup>	750	720	743	523
<b>総廃棄物排出量</b>	<b>kg</b>		<b>18,758</b>		<b>16,600</b>
廃棄物排出量(一般)	kg	3,072	2,558	2,949	2,424
産業廃棄物排出量	鉄液kg		14,000		13,900
	汚泥 kg		2tトラックで1回 /3年程度		2tトラックで1回 /3年程度
グリーン購入	点数	5	9	10	18

### CO<sub>2</sub>削減状況表

2006年度実績	2007年度実績	2008年度実績
68,456 (Kg-CO <sub>2</sub> )	65,482 (Kg-CO <sub>2</sub> )	64,554 (Kg-CO <sub>2</sub> )

【環境活動実績】「2009年度(3月～10月)」(以下年度とは3月～2月を言う)

活動実績表	単位	2009年度		
		計画(3～2月)	計画(3～10月)	実績(3～10月)
<b>総二酸化炭素排出量</b>	<b>kg-CO2</b>	<b>67,795</b>	<b>45,770</b>	<b>38,976</b>
購入電力量	kWh	120,404	77,522	62,184
ガソリン使用量	L	7,559	5,564	4,625
<b>総排水量</b>	<b>m3</b>	<b>1,867</b>	<b>1,266</b>	<b>1,009</b>
上水使用量	m3	735	478	362
地下水使用量	m3	1,132	788	647
<b>総廃棄物排出量</b>	<b>kg</b>	<b>18,758</b>	<b>18,758</b>	<b>16,600</b>
廃棄物排出量(一般)	kg	2,888	1,925	1,116
産業廃棄物排出量	鉄液 kg			7,070
	汚泥 kg			30
グリーン購入	点数	58	38	39

### CO2削減状況表

計画(3～2月)	計画(3～10月)	実績(3～10月)
67,795 (Kg-CO2)	45,770 (Kg-CO2)	38,976 (Kg-CO2)

## 【活動実績の評価】

目標	2009年度(3～10月)評価
<b>電力の削減</b> 室温適正化(冷房28 暖房20 ) 休み時間の消灯、不在 時の消灯 機械の空運転をしない 用	【評価】 対前年比-20%、対目標値-20% 個々の職場で無駄な電気の省エネ協力が得られています。各自の省エネ努力も見られるが、今期に入ってからの稼働日数減、残業中止が使用量に多大な影響を及ぼしていると考えます。
<b>ガソリンの削減</b> <b>自動車燃費の向上</b> 燃費向上目標の説明 アイドリングストップ 急加速・急停車の防止、ス ピード抑制 タイヤの空気圧管理 エンジンオイル管理	【評価】 対前年比-4%、対目標値-8% 営業活動の拡大に伴い移動距離が増加傾向ですので、 比例してガソリン使用量の増加月がありました。 燃費は最良値11.6km/L、最悪値9.8km/Lとなり、平均値11.0km/Lでした。
<b>排水の削減</b> 水道水削減目標説明 節水呼びかけ・促進表示の 明示 地下水の使用量把握	【評価】 対前年比-9%、対目標値-20% 今期は、残業時間の中止及び、就業日数の減少が影響し大幅削減となっている。生産量ダウンが影響し、大幅な削減となった。ただし、不況の影響が関係しているため、一時的な大幅削減値と思われる。
<b>廃棄物の削減(一般)</b> 一般廃棄物削減目標説明 分別の再教育 ゴミ箱の分別化再推進	【評価】 対前年比-38%、対目標値-42% 購入資材の梱包自体が簡略化され、なおかつ社内での再利用により、ゴミ減少につながっています。
<b>廃棄物の削減(産廃)</b> 鉄液の廃棄量把握 汚泥の廃棄量把握	【評価】 産鉄液は引き取り時、汚泥は発生都度、測定・記録を運用しています。 産廃については減量が困難なため、維持管理をしていく。
<b>グリーン購入</b> 中間審査での指摘事項により 単体目標として設定	【評価】 何種類購入か?では無く、購入点数での設定になりました。 目標38件に対して、39件(+3%)
<b>浄水設備管理</b> 管理維持 開 年次液漏れ訓練実施	【評価】 日次・月次点検の維持管理が正しく実施されています。 手順書2点について 訓練・見直し実施済み。

## 【代表者による評価と見直し】

取り組み時状況の評価結果	環境管理責任者からの情報(課題、問題点含む)	代表者の評価・指示
環境関連法規制等の順守状況	2009年9月17日に定期評価を実施した結果順守されている。	良好。
是正・予防処置の状況	特に問題なし	地震対策を再検討する余地がある。
前回までの代表者の指示事項の対応	勉強会を通じて、各職場での室温適正化の協力要請しました。時期や周辺職場での暖・冷房機使用に併せるよう指示しました。	各職場に温度計を設置しているが、さらに温度管理を徹底させる。
環境目標の達成度	別紙	おおむね良好。不況による時間短縮が影響している。
環境活動計画の実施状況	おおむね良好です。今期より、産廃(汚泥)の廃棄量計測・記録、グリーン購入の単体目標化になりましたが、順調に実施されています。	シルク印刷室の有機溶剤(ガス)の除去装置を設置した。
苦情を含む外部からの情報	なし	特に問題なし。
改善の為の提案	特に問題なし	次期、営業車を省燃費型に切り換える。

来期への要望	環境管理責任者	代表者の評価・指示
環境方針・目標変更の必要性	環境方針は修正しないが、若干文面修正。目標変更なし。	承認
環境マネジメントシステム変更の必要性	現状にて維持	承認
総括	来期以降の中期計画(3～5年)を立案中です。	全社的にエコへの意識が根付いてきたように感じる。来期にあたり、基準年度設定を適切に見据え、中期計画を立案すること。

## 【前期の代表者評価・指示に対する環境責任者からの】情報

前期の代表者の評価・指示	環境管理責任者からの情報(課題、問題点含む)
照明機器の切換え時は省エネ型を採用する。	現在までに照明機器自体の交換・増設がありません。発生時は省エネ型を採用します。蛍光灯自体は省エネ型へ切替済みです。
室温適正化が場所によりバラツキが見られる。	勉強会を通じて、各職場での室温適正化の協力要請しました。時期や周辺職場での暖・冷房機使用に併せるよう指示しました。
得意先の貯蓄タンク周囲に防護壁が設置されている。弊社でも検討したい。	設置された防護壁を見学しましたが、風害により傾き、補強工事中でした。また、費用面での負担/対効果に疑問があります。
全社員が同レベルで、環境問題に関心を持つように指導してください。	09年5月13日にE A21認証・登録制度について勉強会実施しました。 内容について、以下に列記します。 ・2007、8年度の効果まとめ ・中間審査結果報告 ・2009年度の目標変更点・活動内容、 ・産業廃棄物実地説明

## 環境法令への違反、訴訟の有無

環境関連法規への違反は創業以来ない。

地域・関係機関からの指摘、訴訟についても創業以来ない。

内容	結果
法律違反の有無	無
訴訟の有無	無